

日本マスターズ2026男子ソフトボール競技岩手県予選会
第18回岩手県ハイシニアソフトボール大会
兼第21回全日本ハイシニアソフトボール大会岩手県予選会

開 催 要 項

- 1 主 催 (一社) 岩手県ソフトボール協会
 - 2 主 管 (一社) 岩手県ソフトボール協会県南地区協議会 一関市ソフトボール協会
 - 3 後 援 (公財) 岩手県スポーツ協会 一関市 (申請中)
(一社) 一関市スポーツ協会 (申請中)
 - 4 会 期 2026年6月13日(土)～14日(日)
(雨天の場合は、主催者で協議の上決定する)
 - 5 会 場 岩手県一関市 東山多目的グラウンド
(一関市東山町長坂字西本町 169 番地 1 TEL: 0191-35-1141)
 - 6 参加資格 (1) 2026年度(一社)岩手県ソフトボール協会の壮年・ハイシニアの登録チームであること。
(2) メンバーは2026年4月1日現在、マスターズ男子は満40歳以上、ハイシニアは満68歳以上であること。
 - 7 チーム編成 (1) 監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、選手25名以内とすること。
(2) 監督、コーチ、スコアラーが選手を兼ねる場合は、選手登録をしなければならない。
(3) 監督、コーチは(一社)岩手県ソフトボール協会会員でなければならない。
(4) ハイシニアはチームの中に①～⑤のいずれかの資格を有する者がいること。
マスターズはチームの中に②～⑤のいずれかの資格を有する者がいること。
※大会参加時点で上記資格が認定されていない状態であっても、
① 公認ソフトボールスタートコーチ
② 公認ソフトボールコーチ1 ③ 公認ソフトボールコーチ2
④ 公認ソフトボールコーチ3 ⑤ 公認ソフトボールコーチ4
【有資格者は氏名の右の欄に認定番号を必ず記入すること。】
(5) スコアラーは公式記録員有資格者とする。
(6) 資格保有者(指導者、スコアラー)の資格確認は、チームがベンチ入りする際(フィールドイングの前)に毎試合行う。その際、資格証と有資格者本人が特定できる顔写真付きの身分証を提示すること。
参加者の中に指導者資格保有者がいない場合棄権とみなす。
 - 8 参加申込 出場チームは別紙参加申込書に必要事項を記入し、シクミネットに登録した監督、コーチ、選手の一覧表、上記の指導員資格証の写しを添付し、参加料を添えて期日までに提出すること。
なお、参加申込後の選手変更は認められない。
- 《申込先》 〒029-1202 一関市室根町矢越字山古沢 87
一関市ソフトボール協会 事務局 村上 健一
Tel(自宅) 0191-64-2714 携帯 080-1803-0973
- 9 申込期限 2026年6月2日(火) 必着
 - 10 参加料 1チーム 12,000円(申込書と一緒に郵送のこと)
 - 11 競技規則 (1) 2026年度(公財)日本ソフトボール協会オフィシャル・ソフトボールルール及び競技者必携に基づく。
(2) 金属スパイクの使用は禁止する。
(3) ハイシニアの投球距離は12.19メートルとする。
 - 12 使用球 (公財)日本ソフトボール協会検定ゴム12インチ球(ナガセケンコー社製)とし、主催者が準備する。

- 13 競技方法 (1) 2種別とも、ファーストピッチのトーナメント方式とし、制限時間と得点差コールドゲームを併用する。
 (2) 全試合90分を過ぎて新しいイニングに入らない。制限時間後も同点の場合は、次のイニングからタイブレークにより試合を続行する。ただし、タイブレークは2イニングまでとし、なお同点の場合は、抽選により勝敗を決定する。
 (3) 3回15点、4回10点、5回以降7点差以上の差がついた場合は、コールドゲームとする。
 (4) サスペンデッドゲームを採用する。
- 14 組合抽選 2026年6月6日(土) 午後3時より下記において公開代理抽選を行う。
 <抽選会場> 一関市立川崎市民センター(研修室)(0191-43-3112)
 なお、抽選結果は参加チームに送付するとともに県協会のHPに掲載する。
- 15 開会式 開会式については、今大会は実施いたしません。
- 16 監督会議 6月13日(土) 午前8時より、一関市 東山多目的グラウンド本部前で行うので、ユニホーム着用の上、全チーム出席のこと。なお、監督会議に欠席のチームは棄権とみなす。
- 17 傷害措置 出場選手が試合中に傷害を受けた場合は、応急措置のほかは責任を負わない。スポーツ傷害保険等の加入を推奨する。
- 18 宿 舎 宿舎の斡旋は特に行わない。
- 19 表 彰 マスターズ男子には第3位まで賞状を授与する。ハイシニアの優勝チームには優勝旗、第3位まで賞状を授与する。
- 20 帯同審判員及び記録員
 (1) 出場チームは、公認審判員1名、公式記録員1名を大会当日帯同すること。2日目に試合がある場合も同様とする。帯同審判員及び帯同記録員に関わる経費等は、そのチームの負担とする。
 (2) 審判員・記録員を帯同しないチームは原則として棄権とみなす。
 (3) 帯同審判員・記録員は6月13日(土) 午前8時までに大会本部で出席の確認を取り、大会審判長・記録長の指示に従い、審判・記録に従事する。
- 21 その他
 (1) ハイシニアの優勝チームは全日本大会の出場資格を得るものとする。マスターズ男子の優勝チームは日本マスターズ2026大会への出場権を得るものとする。出場を辞退した場合には、原則として次年度の同大会への出場は認めない。また、チームには支部協会を通じて報告書を提出する義務を負うものとする。
 (2) 組み合わせ抽選後に出場を辞退した場合は、原則として次年度の同大会への出場を認めない。また、チームには支部協会を通して報告書を提出する義務を負うものとする。
 (3) 登録違反については、違反が発覚した時点で没収試合とする。原則として次年度の同大会への出場は認めない。また、チームには支部協会を通して報告書を提出する義務を負うものとする。
 (4) 出場チームは必ず引率責任者によって引率され、選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
 (5) 荒天により試合が大会日程中に消化できない場合は、主催者で協議のうえ決定する。
 (6) 熱中症対策として、競技本部または担当審判員が休息を必要と認めたときは、試合を中断し休息をとる場合もある。この休憩時間は試合時間に含めないものとする。
 (7) 大会プログラムの無断転用を禁ずる。

【全日本大会 日程】

日本スポーツマスターズ2026 ソフトボール競技(男子)

期日 2026年9月19日(土)～22日(火)

会場 石川県 小松市

第21回全日本ハイシニアソフトボール大会

期日 2026年10月23日(金)～26日(月)

会場 鹿児島県 鹿児島市